

学習指導要領		都立墨田川高校 学カスタンダード
<p>(1) 原始・古代の日本と東アジア</p> <p>原始 ・ 古 代 の 日 本 と 東 ア ジ ア</p>	<p>原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア 歴史と資料 遺跡や遺物、文書など様々な歴史資料の特性に着目し、資料に基づいて歴史が叙述されていることなど歴史を考察する基本的な方法を理解させ、歴史への関心を高めるとともに、文化財保護の重要性に気付かせる。</p> <p>イ 日本文化の黎明と古代国家の形成 旧石器文化、縄文文化及び弥生文化の時代を経て、我が国において国家が形成され律令体制が確立する過程、隋・唐など東アジア世界との関係、古墳文化、天平文化に着目して、古代国家の形成と展開、文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p> <p>ウ 古代国家の推移と社会の変化 東アジア世界との関係の変化、荘園・公領の動きや武士の台頭など諸地域の動向に着目して、古代国家の推移、文化の特色とその成立の背景及び中世社会の萌芽<small>ほころび</small>について考察させる。</p>	<p>〔歴史と資料〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な資料を活用して歴史を考察する基本的方法を理解した上で、自らフィールドワークを実施したり、博物館・資料館などを訪問したりして、文化財保護の重要性を理解する。 <p>〔日本文化の黎明〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 旧石器文化から縄文文化への移行とその違いを、自然環境の変化に着目し、具体的な遺跡や遺物について理解する。また、呪術的な風習の背景について理解する。 弥生時代の社会の変化を大陸文化の影響と関連付けて理解する。 <p>〔古代国家の形成と展開、文化の特色と背景〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 邪馬台国の呪術的宗教的権威と政治的権威を理解するとともに、その位置をめぐる論争の意義を理解する。 大和政権の支配体制や古墳文化の各時期の特色を大陸から渡来した人々との交流など東アジア諸国との関係に着目して理解する。 東アジア世界の動向や国内情勢の変化を背景に推古朝の改革を理解するとともに、飛鳥文化の各作品の特色を国際的視野から理解する。 唐の影響の下に成立した日本の律令制度は、単に模倣ではなく、日本の実情に合わせて制度化されていることを理解する。 平城京の時代を遺跡や遺物、文献などを基に考察し、支配領域の拡大や土地支配の強化など律令制度の展開について理解する。 天平文化の様々な文化財についての特色を国際的視野から理解する。また、鎮護国家の思想の背景や記紀などから古代の人々のものの考え方や生活を理解する。 <p>〔古代国家の推移〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 平安初期の政治改革を律令体制の再編と変質の中に位置付けて捉え理解する。 摂関政治が古代社会が大きく転換する中でとられた政治形態であったことを理解する。

	学習指導要領	都立墨田川高校 学カスタンダード
<p>(2) 中世の日本と東アジア</p>	<p>中世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア 歴史の解釈 歴史資料を含む諸資料を活用して、歴史的事象の推移や変化、相互の因果関係を考察するなどの活動を通して、歴史の展開における諸事象の意味や意義を解釈させる。</p> <p>イ 中世国家の形成 武士の土地支配と公武関係、宋・元などとの関係、仏教の動向に着目して、中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p>	<p>[文化の特色とその成立の背景]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弘仁・貞観文化を東アジア世界との交流や貴族社会と関連付けて理解する。 ・国風文化が成立する背景について、東アジア世界との関係の変化、浄土教と末法思想の広まり、貴族社会の変質などと関連付けて理解する。 <p>[中世社会の^{ほうが}萌芽]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初期荘園が律令制支配と矛盾し拡大を遂げる中で、公領の土地政策の転換や寄進地系荘園の発達について、地方政治と関連付けて理解する。 ・律令の軍制などの変質や地方政治の矛盾と関連付けて、武士の成長について理解する。 <p>[歴史の解釈]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸資料を一つ一つ深く読み込んで歴史を考察し、歴史的事象の推移や変化、因果関係を考察して、歴史的諸事象の意味や意義を解釈し説明できるとともに、大きな歴史の展開に位置付けて理解する。 <p>[中世国家の形成過程や社会の仕組み]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院近臣や武士が国家の中で占める力を強め、平氏政権や内乱を通じ、中世的な国家が確立する条件が生まれたことを理解する。 ・平氏政権が短命であったことについて、その性格を踏まえて理解する。 ・鎌倉幕府の成立を社会の仕組みや公武関係の変化の中でとらえ、支配機構や土地制度の変遷を理解する。 ・朝幕関係の二元的支配の状況が大きく変わり、朝廷に対する幕府優位の関係が生まれたことを理解する。 ・武士の土地支配の拡大などについて、その背景や意義を公武関係の変化の中で多面的に理解する。 ・蒙古襲来から幕府衰亡への経緯を理解し、蒙古襲来や宋・元など東アジア世界との交流が社会・経済・文化に及ぼした影響を理解する。 <p>[文化の特色とその成立の背景]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院政期の文化が成立する背景について、武士や庶民の

学習指導要領		都立墨田川高校 学カスタンダード
<p>ウ 中世社会の展開</p> <p>日本の諸地域の動向、日明貿易など東アジア世界との関係、産業経済の発展、庶民の台頭と下剋上、武家文化と公家文化のかかわりや庶民文化の萌芽に着目して、中世社会の多様な展開、文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p>	<p>台頭、地方文化の進展と関連付けて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新仏教誕生や旧仏教の革新に見られる多様な動きの社会的・思想的な意義やその影響を理解する。 ・芸術全般にわたる新傾向出現の背景を、東アジアとの交流や武士社会の発展などと関連付けて理解する。 <p>[中世社会の多様な展開]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建武の新政の問題点、南北朝動乱の長期化の理由などについて理解する。 ・守護大名と幕府との関係などを踏まえ、室町幕府の支配機構の特色を理解する。 ・応仁の乱の意義を理解するとともに、戦国大名による分国支配の特色について理解する。 ・東アジアとの交易について、アイヌ社会とのかかわりや琉球の中継貿易、明・朝鮮との様々な形での交流などを踏まえて理解する。 <p>[文化の特色とその成立の背景]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸産業の発達により庶民が台頭し、地域的な要素が強まり、自治的な惣村の形成や一揆の組織が成立したことを理解する。 ・各文化が成立した時代背景を理解し、武家文化と公家文化の関連性並びに庶民文化の萌芽を理解する。 ・地方文化の諸相を京都の文化との関係や庶民の台頭と関連付けて理解する。また、古代・近世の都市と比較し、中世都市の特色を理解する。 	
<p>(3) 近世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>近世のア 歴史の説明</p> <p>歴史的事象には複数の歴史的解釈が成り立つことに気付かせ、それぞれの根拠や論理を踏まえて、筋道立てて考えを説明させる。</p> <p>イ 近世国家の形成</p> <p>ヨーロッパ世界との接触やアジア各地との関係、織豊政権と幕藩体制下の政治・経済基盤、身分制度の形成や儒学の役割、文化の特色に着</p>	<p>[歴史の説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的事象には複数の歴史的解釈が存在することを理解し、それぞれの論拠としている史料などを比較・検証し、それぞれの歴史的解釈を筋道立てて理解するとともに、自らの史料読解や史料批判を行い、自分の論理を組み立てて歴史解釈を行い、説明することができる。 <p>[近世国家の形成とその特色や社会の仕組み]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵農分離政策や身分制度の形成など織豊政権が近世の政治・経済や社会の基盤形成に果たした意義を理解する。 	

学習指導要領		都立墨田川高校 学カスタンダード
<p>目して、近世国家の形成過程とその特色や社会の仕組みについて考察させる。</p> <p>ウ 産業経済の発展と幕藩体制の変容 幕藩体制下の農業など諸産業や交通・技術の発展、町人文化の形成、欧米諸国のアジアへの進出、学問・思想の動きに着目して、近世の都市や農山漁村における生活や文化の特色とその成立の背景、幕藩体制の変容と近代化の基盤の形成について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・桃山文化以前の文化の担い手と比較して国際色豊かな文化で、生活文化として定着し後世まで残ったものであることを理解する。 ・幕藩体制の確立によって成立した近世社会の特色について、世界の動向と関連付けて理解する。 ・鎖国体制に至る過程やその影響を理解し、更に鎖国下でも関係のあった国や地域との交流の特色とその歴史的意義を理解する。 <p>[産業経済の発展や文化の特色]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元禄時代や正徳の治の具体的な政策を、幕藩体制の安定を背景に理解する。 ・農業・商業の発展や陸上交通・海運の整備、貨幣制度などの具体的な発展とその特色を理解する。 ・元禄文化について、学問・文学・美術などについて、具体的な作品や作者を挙げ、時代背景とともにその特色を理解する。 ・享保の改革や田沼政治の具体的な政策を、時代背景や歴史的意義とともに理解する。 ・宝暦・天明期の文化について、学問・文学・美術など具体的な作品や作者を挙げ、時代背景とともにその特色を理解する。 <p>[幕藩体制の変容と近代化の基盤形成]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寛政の改革や天保の改革の具体的な政策を、時代背景や幕政衰退の原因と関連させながら理解する。 ・列強の接近の具体的な事例を理解し、鎖国体制や幕藩体制の衰退につながったことを理解する。 ・薩摩藩や長州藩を中心とする雄藩の具体的な改革を理解し、雄藩の台頭を近代へのつながりとともに理解する。 ・化政文化について、学問・文学・絵画など具体的な作品や作者を挙げることができ、時代背景とともに文化の特色を理解する。 	
<p>(4) 近代国家の形成と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>近代 日 本</p> <p>ア 明治維新と立憲体制の成立 開国と幕府の滅亡、文明開化など欧米の文化・思想の影響や国際環境の変化、自由民権運</p>	<p>[開国と幕府の滅亡]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開国により幕政の在り方が変化し、朝廷権威が高まったことと我が国が国際社会の枠組みに組み込まれた 	

学習指導要領		都立墨田川高校 学カスタンダード
<p>の 形 成 と 世 界</p>	<p>動と立憲体制の成立に着目して、明治維新以降の我が国の近代化の推進過程について考察させる。</p>	<p>ことを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 通商条約調印が、明治維新後の新政府にとって大きな課題となったことを理解する。 公武合体派が政局の主導権を握っていく過程と倒幕運動の展開について理解する。 徳川慶喜が、目指した政権構想について理解する。 <p>[明治新政府の近代化の推進過程]</p> <ul style="list-style-type: none"> 五箇条の御誓文と五榜の掲示の性格について理解する。 諸改革や富国強兵・殖産興業などの政策により中央集権的な近代国家の基礎が形成されたことを理解する。 <p>[文明開化]</p> <ul style="list-style-type: none"> 文明開化が政府主導の近代化政策であり、欧米諸国と対等の地位へ引き上げようとするものであったことを理解する。 朝鮮など近隣アジア諸国に対して、欧米諸国と同じような姿勢をとったことを理解する。 <p>[自由民権運動と立憲体制の成立]</p> <ul style="list-style-type: none"> 自由民権運動の経過、立憲政治確立までの政府の政策とその結果について理解する。 大日本帝国憲法が欧米以外では唯一の憲法であったことの意義を理解する。 <p>[条約改正]</p> <ul style="list-style-type: none"> 条約改正交渉の成否の背景に、国内の法体制の整備、国際関係の変化があったことを理解する。 <p>[日清・日露戦争とその前後のアジア]</p> <ul style="list-style-type: none"> 日清戦争後の東アジア情勢を把握するとともに、それが日露戦争へつながっていったことを理解する。 藩閥政府と民党という対立軸が無くなり、政党の官僚化、官僚の政党化が進んだことを理解する。 日比谷焼き打ち事件以後、民衆の政治意識が高揚していったことを理解する。また、日露戦争の勝利がアジア諸民族の独立や近代化に刺激を与えたことを理解する。
	<p>イ 国際関係の推移と立憲国家の展開</p> <p>条約改正、日清・日露戦争とその前後のアジア及び欧米諸国との関係の推移に着目して、我が国の立憲国家としての展開について考察させる。</p>	

学習指導要領		都立墨田川高校 学カスタンダード
<p>ウ 近代産業の発展と近代文化</p> <p>国民生活の向上と社会問題の発生、学問の発展や教育制度の拡充に着目して、近代産業の発展の経緯や近代文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p> <p>近代国家の展開と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア 政党政治の発展と大衆社会の形成</p> <p>政治や社会運動の動向、都市の発達と農山漁村の変化及び文化の大衆化に着目して、政党政治の発展、大衆社会の特色とその成立の背景について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国併合後の朝鮮と日本社会の変化について理解する。 [近代産業の発展] ・産業発展の背景に、近世以来の教育の普及と就学率の高さがあったことを理解する。 [近代文化の特色] ・富国強兵、殖産興業の政策上から科学技術の移植と研究が進められたことを理解する。 ・思想界の動向について、日清戦争や日露戦争などの社会情勢と関係付けて理解する。 ・教育の普及や交通・通信・出版の発達によって国民生活が変化し、国民自身の手による近代化が進んだことを理解する。 [政党政治の発展] ・護憲運動以後の内閣は、民衆の動向に細心の注意を払って対応していかなばならなくなったことを理解する。 ・政治の民主化を求める国民の声は、大正デモクラシーの思潮を生み、政党政治の発展を可能にしたことを理解する。 ・普通選挙法への対応などから原内閣の性格について理解する。 ・第一次護憲運動と第二次護憲運動の違いについて理解する。また、二大政党による政党内閣制の意義について理解する。 ・社会運動の発展には、第一次世界大戦やロシア革命という国際的な影響もあったことを理解する。 [大衆社会の形成] ・国内の地位的な経済格差が問題となり、二重構造となっていたことを理解する。 [第一次世界大戦前後の対外政策の推移] ・二十一カ条要求などにより中国に権益を拡大していったことを欧米諸国や社会主義国との関係を踏まえて理解する。 ・ヴェルサイユ体制下における五・四運動と三・一独立運動について、その後のワシントン体制下の日本の協 	
<p>(5) 両世界大戦期</p> <p>イ 第一次世界大戦と日本の経済・社会</p> <p>国際社会の中の日本の立場に着目して、第一次世界大戦前後の対外政策の推移や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> [第一次世界大戦前後の対外政策の推移] ・二十一カ条要求などにより中国に権益を拡大していったことを欧米諸国や社会主義国との関係を踏まえて理解する。 ・ヴェルサイユ体制下における五・四運動と三・一独立運動について、その後のワシントン体制下の日本の協 	

学習指導要領		都立墨田川高校 学カスタンダード
<p>の 日 本 と 世 界</p>	<p>ウ 第二次世界大戦と日本 国際社会の動向、国内政治と経済の動揺、アジア近隣諸国との関係に着目して、対外政策の推移と戦時体制の強化など日本の動向と第二次世界大戦とのかかわりについて考察させる。</p>	<p>調外交の展開を関連付けて理解する。 〔国内の経済・社会に及ぼした影響〕 ・大戦景気により日本の独占資本主義が確立し、財閥による金融・産業支配が確立したことを理解する。</p> <p>〔対外政策の推移〕 ・世界恐慌の発生やその対応策としての保護貿易主義の広がりという世界経済の構造的な変化の中で、日本はどのような対応をしたのかを理解する。 ・全体主義の台頭による国際社会の変化や中国などにおける民族主義の進展と日本とのかかわりを理解する。 ・軍部の政治的な進出の影響について理解する。 ・金融恐慌や昭和恐慌に対する経済政策と政治・経済・外交に与えた影響について理解する。 ・対外政策の推移を国内の政治・経済状況や国際環境と関連付けて理解する。</p> <p>〔戦時体制の強化と第二次世界大戦〕 ・戦争の長期化による外交関係の変化、国内経済や国民生活への影響、学問・思想・教育などへの統制について理解する。 ・日本の敗戦に至る過程をたどりながら、国内外の戦争の悲惨さを連合国側の動向も踏まえて理解する。</p>
<p>(6) 現代の社会や国民生活の特色について、国際環境と関連付けて考察させ、世界の中での日本の立場について認識させる。</p> <p>の 日 本 と 世 界</p>	<p>ア 現代日本の政治と国際社会 占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察させる。</p>	<p>〔我が国の再出発〕 ・初期の占領方針である非軍事化と民主化の諸政策を、当時の国内外の情勢と関連付けて理解する。 ・占領政策がどのように変わったのかを、再軍備と経済自立の視点から日本の位置付けを踏まえて理解する。 ・GHQ及び日本政府の方針を対比するとともに条文の内容を大日本帝国憲法と比較し、特色と意義を理解する。また、日本国憲法に基づいて行われた国家組織、法律体系などについて理解する。 ・日本の独立と日米安保体制の意義を冷戦や朝鮮戦争などの国際情勢や日本の地理的条件と関連付けて理解する。</p> <p>〔政治や対外関係の推移〕 ・日本が国際社会に復帰したことの意義及び日本が国際</p>

学習指導要領	都立墨田川高校 学カスタンダード
<p>イ 経済の発展と国民生活の変化</p> <p>戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。</p> <p>ウ 歴史の論述</p> <p>社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などについて、適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、考えを論述する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身に付けさせる。</p>	<p>社会において果たすべき役割を、国際情勢と関連付けて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境問題、資源・エネルギー問題などのような国家の枠を越えた課題について、国際環境の動向や地理的条件とかかわらせて理解する。 <p>[日本経済の発展と国民生活の変化]</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の経済安定策と朝鮮戦争に伴う特需景気により日本経済再建の基礎が築かれたことを、当時の国際情勢と関連付けて理解する。 日本経済の高度成長による国際的地位の向上と外交問題などを関連付けて理解する。 国民生活が多様化する中で、生活意識や価値観の変化が生じたことを理解する。 <p>[歴史の論述]</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などについて、社会生活にかかわる具体的な主題を自ら設定し、史・資料を多角的・多面的に考察し、自分なりの解答をレポートなどにまとめるとともに、他の生徒と意見交換や討論を行い、歴史認識を深めることができる。